

## 11 自由意見のまとめ

問 35	「市民一人ひとりが個人としてお互いを尊重し、性別による差別的な扱いを受けることなく、自己の能力を発揮できる社会」へ向けて、あなたが日頃から感じていることをお聞かせください。
------	--

以下は、自由意見欄に記入のあった 282 件の意見について、(1)～(8)の調査項目の区分別に整理した中からそれぞれ数件ずつ抜粋したものである。

### (1) 男女平等意識について

- 男女というカテゴリーでくくる考えはやめて、1人1人個人の個性を尊重する時代になったのだと思う。ただ全て平等をいう訳にはいかなくて、防犯等の観点から区別する必要があることも多く、何か変わっていく際には慎重に進めなくてはいけない。私より歳が上の方の考えを改めるのは難しく、「昔は～だった」という固定概念からくる考えから、特に若い方への対応が固まっている印象（受け入れない）がある。子供の頃から教育はやはり大切に思う。  
(40代女性)
- 性別によらず仕事が適正に評価され、労働条件面での男女差をなくすことが大事だと思います。夫婦においては、双方の話し合いのうえ、収入が高い方や時間が取れる方などをふまえ、子育ての分担をするよう、お互いに不満がないよう話し合ったうえで納得して育児や生活ができればと考えます。そのためには、小さな頃からの教育が一番大切で差別をなくし、今の時代は男女関係ない平等な社会にこれからしていく必要があります。女は愛嬌も大事ですが、女性自身も小さな時から男女関係なく能力を伸ばしていくべきで、甘い考えはなくしていくべきだと思います。(40代女性)
- 男女の体・心の違いはあり、なんでも同じことが平等とは思わない。個々の思いを大切にし一人一人が尊重されることが平等へとつながる。子供、特に赤ちゃんはお母さんをもとめている。父親はそれをフォローすることで家族がまとまるように思う。そのためには職場の理解が必要。(50代女性)
- 学校教育において、人と人を見比べたりする差別をなくすこと。人類みな平等かつ、みんな同じで兄妹であること。(50代男性)
- 小さいころから男女平等という考え方を学ぶことが大切。お互いを理解し、個性があるということを尊重し、生活の中で自然に学びとっていくことで差別的なことが少なくなっていくと思う。(60代女性)
- 「一人ひとりが平等に…」とはいっても、男性は仕事・女性は家庭を守るという考えがまだまだ根付いているので、もっと広く周知し、今後、色々な分野で性別に関わらず活躍できる社会になればいいと思います。(50代女性)
- 全てを平等にするのではなく、男女それぞれに特性があるのでそこを考えて男女平等の社会になってほしいです。同性婚ははやく認められてほしいと思います。性別で結婚が制限され

るのはよくわからないので認められてほしいと思います。(10代女性)

- 自分が若い頃に比べて、格段に社会は男女平等、個人の尊重、性的マイノリティへの差別などは改善していると思う。みんな、ひとりの人間としてお互いに思いやりをもって生活できる社会であって欲しい。(子どもをみていると、個人の権利ばかりを主張するようなことがあるような気がする) (50代女性)
- 男女平等の名の下で、女性への過度な優遇措置を行うことにより、逆に男性側の平等性を損なう可能性がある。男女平等の議論をするならば、一方だけ見てはいけないのだろうと思う。(40代男性)
- 男女差別な扱いをなくしひとりひとりの人間として尊重しあえる環境作り、男女平等に能力発揮できることが理想だと感じます。(20代女性)
- 男女の性差、役割の違いがある中でムリヤリ男女平等、女性登用を進めてもうまくいかないと思う。子供を産むことは女性しかできないことを踏まえて性差を認めた上で男女関係なく人として能力を発揮し尊重されるべきと考える。(50代男性)

## (2) 家庭・結婚観、地域活動について

- 職場は男性が多いが、お湯を沸かしてくれたり、自分のカップを自分で洗うので、それに関して全く不満がない。職場は(男女差別をなくすような話し合いを)学べる機会があるが、町内会の男性はその機会がないと思われる。力仕事は男性にはかなわないが、女性にも男性にもできる作業もこれは男、こっちは女と最初から振り分けられ、トータル的に力さえあれば仕事量は男性の方が少ない。町内会活動において男性の参加率が高く、女性の参加者への負担も大きい。市であればなおさら町内会へ働きかけてほしい。(50代女性)
- 地域の活動に参加しない人が多い。決まった人だけで声掛けし、お願いするようにしてほしい。女性もぼちぼち参加協力はしている。(70代以上女性)
- 町内会や、地域の活動への参加が義務の用になっている…もっと自然な形で人と人、地域の繋がりが出来る方法があると思う…。自治体からいろいろな要求される今の関係性はストレスを生み、恨み、憎しみを生んでいるのが現状… (50代男性)
- 地域単位のつながり/活動・コミュニケーション等が縮小してきている昨今、高齢者の活動/レクリエーション/活動参加も少なくなってきました。これからの楽しく、元気になれるコミュニティ作りをどうしたら？と実現できるのか足踏みしています。(70代以上女性)
- 種々の活動の場で一番問題なのは、その土地に長く住んでいるからとか昔からの顔役だからとかで、世話になったり役員になったりしているのが問題である。すべてなあなあで済ませられるからその人に任せておけば揉め事も起きない。長い間、同じ人が役員をやっていて、その人の言うことは黙って聞くから問題なく物事が済む。だから積極的に活動しようと思っても「出る杭」は打たれる。活発な議論はなされない。私自身、退職後20年の間、地域の活動には参加してこなかった。常に職業に就いていたときの活動に3つも4つも参加していた。民主的な活動で実に楽しかった。地域の活動も議論をして良い活動を作ってほしい。(70代以上その他)

- 男女差別なく地域活動等に参加してコミュニケーションを図ることが望ましい。一人で悩まないで、いろいろな窓口で相談してほしい。今回、こんな窓口があるのが知らなかったので悩んでいる人がいればアドバイスしたい。(70代以上女性)

### (3) 女性活躍の推進について

- 女性が活躍できる場が増えると社会や職場が明るく活気づくと思います。(50代男性)
- 私は現在子供の世話を中心とした専業主婦であり、それは自分で選択したことです。また、ずっと働く気が無いわけではなく、一番下の子が小学生になるタイミングで少しずつ外で働く時間を増やしていこうと考えています。世間では、働く女性を増やそう、女性ももっと社会で活躍していきましょう、という流れが大きく、専業主婦の私はとても肩身の狭い思いをすることがあります。会社員として仕事をしていた10年ほど前からずっと、どうして職場で全ての女性が“男性視点での活躍”を強要されなければいけないのか、どうして男性はみんなが活躍していて女性だけが活躍していないような前提になっているのか、残念だと思います。(40代女性)

### (4) 職業・就労について

- 私たちが若いころに比べ女性が仕事を持つことが普通になっている現在がとても羨ましいです。ただ、仕事をもっている女性が家庭を持ち、子供もできた場合、その配偶者は職場と家庭が上手く両立できるよう手助けが必要かと思います。これは子供の時から培われないとだめだと思います。お互いが尊重しあって大変な時期を乗り越えていってほしいと願います。(70代以上女性)
- 現在は仕事中心の生活で、幸い職場は性別による差別を感じないため、また、家事も家族が主に担ってくれているため、日頃は性差別による不満をほぼ感じていませんが、社会のなかでは、以前よりは良くなってきていると思いますが、まだまだ女性の地位が低いだろうと思います。だいぶ前ですが、新聞で、国際機関の方だったように記憶していますが、女性の地位向上に必要なのは女性のエンパワーメントと仰っていた記事を読み同感しました。力のある人を社会は放っておかないと思います。女性に力を付けることと、仕事であれば働きやすさが大事だと思います。今回のアンケートで、市の条例と基本計画に無関心だったと反省しました。後日、目を通します。(50代女性)
- 自分の家族の会社は仕事の能力があるのに、何十年も職場で不当な昇進差別を受けて病んだ人が何人もおり、男女に関係無くそうした差別の無い社会にする事が重要だと思います。(50代女性)
- 育休が安心してとれる職場環境が必要です。男性でも女性でも育休をとればその分誰かが無理してカバーしている現状です。子育て中の人だけでなく誰もが仕事も生活も充実して過ごせるような「余裕」が必要なのではないかと思います。心の余裕、時間の余裕がある生活ができれば、自分や周りの人を大切にできるのではと思います。(50代女性)
- 以前働いていた職場で、同時期に契約社員として入社した男女が、数年後男性は正社員に登

用されその後昇進して行ったことに対し、女性は契約社員のまま定年を迎え退職金も無かった。性別による差別的な扱いを強く感じた。(60代女性)

#### (5) 子どもの教育について

- まずは人と比べない。お互いを尊重する、人間を子ども教育から育てるという事がとても大事な事だと思います。DV もいじめ・虐待など、すべて子供の頃から環境が大きく関係していると子育てをしていて強く思います。今は相談窓口もあって昔よりは理解も広がりましたが、相談窓口から学校、警察の連携をもっと強化して釈然とした態度で接する事をもっと周知すれば、もう少し暮らしやすい福島市になるのではと思います。(40代女性)
- 子供たちが小さいころから年齢に応じた教育が重要ではないか。一時的なものではなく、継続し続けることで達成できる社会だと思っています。マニュアル等を作成したことで完了でなく、マニュアルに基づく実践と見直し改正して実現できるものと思っています。(70代以上男性)
- 一人一人の個性を大切にすることは重要だが、常識やモラルを身につけないまま大人になり、他人に迷惑をかけている人が見受けられる。一概には言えないが幼少期の教育は大事だと思う。やさしい心の人が増えればいいと思う。(50代女性)
- 若い人を見てると、多様性を理解していると思います。自分の子供を見ていて感じました。それは学校での教育なのか、今のご時世で自然に身に付いたのかは分かりません。中年からお年寄りにかけてが、昔からの凝り固まった考えで、考えがついていけない気がします。学生には道德の授業を増やし、広めていくことが重要な気がします。(勉強より大事な気がします) 中年からお年寄りについては、どうしたらよいのか分かりません。(自己中心的な人が多すぎます) 一人一人が相手の立場や気持ちになって考えられる、そんな世の中・福島市になってほしいと思います。(40代男性)
- それぞれの年齢等の段階でこのような社会への理解を深め、醸成するために学びの場を設定する必要があると思います。また、特に教育の場面において学び、研修の時間を設定することが特に必要であると考えられます。(60代男性)
- 年を取るとなかなか意識を変えることは難しいので、子どもの頃からの教育が大事だと思います。男女平等が当たり前だと思う子どもたちが大人になれば、社会は変わっていくと信じています。(50代女性)
- 子供の頃から男は仕事、女は家庭の仕事という認識がないように、親や社会が変われば今後変わっていくと思う。保育園、学童、家事支援(食事や掃除)サービス、病児保育などがあれば働きやすく女性も仕事を続けやすくなると思う。引退された方に協力いただくのは良いと思う。ファミリーサポート制度良いと思います。支援してくださる方の家でしか子供を見てもらえないので、支援を受ける側の家で見てもらえたり、子供が入院した場合は日中の付き添いなどもお願いできたらより利用しやすいと思います。夏休み、冬休み、春休みも学校を開放し自由通学を。その時65才以上の高齢者を先生として多数参加を。昼食はみんなでCooking etc 自由な教育を。不得意科目のマンツーマン授業 etc。保育園も高齢者、小中高

生に開放を。育児を子供たちは学ぶべきです。(40代女性)

- まずは学校での教育を拡充して幼い頃から他の考えを尊重するまたは知ることを進めてほしい。町内会レベルなど末端までパンフレットなどで進めてほしい。(20代女性)
- 人の心の思いを育てる教育をしていく事が大切かと思えますので幼少期から保育所、幼稚園、小・中・高等の学校の教育機関にて時間をとって授業にとり入れてほしい。(70代以上女性)
- 日本のジェンダー不平等は制度よりも風土の問題が大きい。またホワイトカラーの意識におけるジェンダーバイアスが大きいのが特徴と思う。欧米先進国でもブルーカラーではジェンダーバイアスがそれなりに残っているが、ホワイトカラーでもその傾向が残っているのが日本の特徴と思う。個人的には学校教育の影響が大きいと感じている。(50代男性)
- 幼少期からの刷り込みは容易に変えることはできないと思うので、親世代は意識的に性別による差別をしないように子どもに接することで子ども世代において差別的な意識をなくしていかなければならないと思います。また、基本的な筋力量ではどうしても男性に利があったり、妊娠出産は女性しかできない等、明確な性差は存在するので、そういった部分から差別が発生しないように仕組みを整えることも必要だと思います。(40代男性)
- 昔あった倫理道德の授業を復活させる事。今の時代は倫理観、人を個人を思いやる心を育てるものが幼少期から無い。根本的なところから教育をすることが大切に思う(60代男性)

## (6) 人権について

- 学校教育は理想的な形で子供達は育て(卒業)いくが、一般社会はまだまだ旧態依然としている。地域の教育力を高め、人権意識やジェンダーフリー等の考え方を広めなければと思う。子供たちはやがて地域住民となる未来に期待したい。(70代以上女性)
- 私は同性愛者です。パートナーシップ制度の導入を待っている間に福島に住んでいたことを後悔しました。制度の導入が遅過ぎです。制度の導入に関する質問の受け付けでは「市民の理解増進に努めて参ります」と回答を続けてましたね。理解が進まない地方だからこそ理解の増進を図るというのであれば、市や県の行政が率先して行動を起こすことで伝えて行かなければいけないのではないのでしょうか？私は自分が同性愛者であると気付いた時からずっと息を殺して生きてきました。未来の子供たちに私のような苦しい生き方をさせてほしくありません。そんな思いが少しでも行政に届いて欲しいと願っています。(30代男性)
- 差別と区別の違いを知ること、性別にとらわれすぎないことへの理解が必要だと感じます。(30代女性)
- 女子トイレなどを体が男性で心が女性の人を利用したニュースなど聞くと、娘を持つ親としてとても心配になります。LGBTQの方への配慮や理解は必要だと思いますが、それによって女性や子供の権利が侵害されないかが心配です。計画策定にあたり大まかな方向性は国や県の指針に則って作らないといけないと思いますが、福島市民の声を基に福島市らしい計画を作してほしいと思います。(30代男性)
- 性差別を受けている方の声を直接聴くことができれば、自分自身もっと寄り添えるかもしれない、と感じる。(今は人伝いやメディアを通じての見聞きが多いため、意見の信憑性が判断

できないことと、自分に関わりがあることとして主体性を持ってアクションしなければならないという意識が持ちづらい) (30代男性)

#### (7) 防災について

- 世に性別の違いがあることは必要であり、当然のことである。しかし、経済的などいろいろな差別があり、つらい目に合ったことなど数限りある。しかし、災害の時などには男女の区別・差別などない。行政は一本筋を通し、それを押し進めること、一般の人達もいざという時の行動ができるよう意識を高めるようにすること、行政の言うことには従うこと。3.11の大地震、大津波の時、警察官・消防団の人達が多く亡くなっていることも教訓にすべきです。(70代以上女性)

#### (8) 男女共同参画に関する施策について

- 「男女共同参画」という言葉がわかりにくいし、古いと思う。横文字ではなく日本語でよい表現があるとよいと思う。よい表現は思い浮かばないが、「性別にとらわれない協働」など…。少し長すぎますね。(60代女性)
- 男女共同参画等のさまざまな活動についてもっと啓発活動をした方がよいと思う。(60代男性)
- 今まで男女共同参画社会や「市民一人ひとりが個人としてお互いを尊重し、性別による差別的な扱いを受けることなく、自己の能力を発揮できる社会」を考える機会がなかった。周知や考える機会の提供をしてもらえると良い。また、福島市の男女共同参画社会の活動や実績でどのような変化があったのか知れると良いと思った。(20代女性)
- 「男女共同参画」以前から知ってはいましたが、あまり身近に感じていませんでした。差別的な扱いを受けていても声に出せない人がいると思う。声に出していけるように啓発発信してほしいと思う。何よりも若い世代が福島市に戻ってくる魅力ある福島市にしてほしいと思う。(60代女性)
- 男女共同参画について、市の取り組みを知らないことを認識しました。今後はお便り等によく目を通していきたいと思います。男女にとらわれず、自由意志でふつうに生活できる社会になっていくよう一市民として努力していきたいと考えています。(60代女性)
- 自己の能力を発揮できる社会、良い目標だと思います。ですが、自己の能力を発揮できない人間に対するフォローも厚く必要と思います。私自身、弟が不登校のため家族と一緒に福島県ひきこもり相談支援センターへの相談・カウンセリングを定期的に受けていて大変助かっています。男女共同参画社会を推し進めるのであれば、家庭で発生する様々な課題・トラブルをフォローする役割を第三者が引き受けることが必須だと思います。今後とも、支援の仕組み作りを推し進めていただきたいです。よろしく願います。(20代女性)

## その他

- 男性に対する差別無しの意味をもっともっと分かってもらう啓蒙活動が必要と思われる。(70代以上男性)
- 人の心を傷つけたり、いやがらせをやめて、おもいやりを持つ事必要とおもいます。(70代以上女性)
- 男女のことで考えれば知事や市長が女性になるのも一つの方法ではなかろうか？小中高の校長も半数を女性にするなどよい意味で男性の登用に制限をかけること(30代男性)
- 高齢者が多いのでやはり男尊女卑の思想が根強く残っていると思われます。(60代女性)
- 男女平等、性的マイノリティと近年さわがれていますが、個人の自由であり、過敏になりすぎていると思う。基本、男女の作りがちがうので平等とはすべてならない。女性は子供を産むし、力も男性程強くない。「男らしく」「女らしく」がおかしいと言っている方がおかしいと思う。きれいな女性を見て美しいと感じるのは自然なこと。「女らしい」を使ってはいけないのか？ミスコンも基準がおかしくなっている感じはある。子育ても夫婦一緒には基準だが、母親の役目はきちんとあると思う。時代の経過なのか…。男性同士の結婚も個人の自由だが、そこに生産性がないことは事実。トイレや風呂にトランスジェンダーが堂々と入って来られても困る。(50代女性)
- 京都の玄関口である駅前の老舗デパート、西口の大型商業施設のあいついだ撤退で中心市街地の活性化が大きな問題になっているが、最近のニュースで建て替え工事も2年後に着工する。この後世に残す大事業に便乗して今ある東口～西口の連絡の通路を拡張し、階段も撤去、スロープにし、車イスも自由に通れるような共生社会を望みます。また、温暖化で暑い福島でも高齢者にも優しい場所作りになるものと思います。(70代以上男性)
- 男性が子供の頃から人として生きていくための家事全般を小学校より学んで身につけていく事で自信も生まれ、女が家事をするものという考えを改めることが大切だと思う。女性も同じようにずっと結婚しても独身でも仕事は続けていけば社会参加につながり、お互いに自分に自信が持てると思う。受験にも家事能力の科目をプラスしてほしいと思っています。男女共に。(70代以上女性)
- どんな考えの人にも個人の尊厳を尊重することが大事であると思います。(70代以上女性)
- ひとりひとり相手のことを思いやって話を聞いたり行動できるようになればいいなと思います。自分を大事にして相手も大事にする。(60代女性)
- 女性のリーダー、女性の管理職を増やすなどではなく、男女関係なく実力を発揮できる人が活躍できる社会になるといいと思う。(40代女性)
- 私は女性ですが、これまで感じたことがあります。これは男性でなければダメ・これは女性でなければダメ…そんなことはないよなあと感じたことがありました。その中にはだいたい「男女どちらでも良い」ということも増えたように感じます。これからもっと良くなることを望みます。(60代女性)

- その人の個性もあるので難しいですね。(70代以上女性)
- 固定観念にとらわれず新しい生き方や意見にも耳を傾けていきたい(70代以上女性)
- 社会全体が個性として認め、当事者本人も自分たちの個性だと捉え、人間としての自信を持つことが一番大事なことだと思う。どうぞ堂々と生きてください。どんな形であれ、社会のため貢献できる人であってください。どんな人も、男も女も、人間としての自覚を持ち行動すること。善と悪をわきまえることが全世界の平和につながると思う。(70代以上女性)
- 困っている人に意見を反映させる法律、制度、支援の充実。(30代男性)
- 福島市として市民へのアピールが不足しているのでは？(60代女性)
- 能力に応じて賃金がもらえればいいと思う。(50代男性)
- 私が思うに女性が社会参加して成長し、実力を発揮していくためには一番に男性の意識改革、特に管理職になってからが男女平等に物事判断できるかが重要に思われる。私は30年くらい東京で働いてきましたが割合、職場の環境には運よく学歴もないのに恵まれてきたと思います。「いじめ」にあっても引きこもるのではなく「いじめ」を肥やしにして成長してほしいものです。女性も同じ、視野を広げて、いくつからでも社会に出て思う存分に働いてほしいものです。こんなことを書いてお役に立つかわかりませんが、まとはずれなことでしたら廃棄してください。(ちなみに私は福島がふるさとです。)(70代以上女性)
- 誰とでも会話できているので楽しく生きています。(70代以上女性)
- 市長をはじめ、職員の質の向上が必要ではないでしょうか。本当に意見が反映されることを望みます。(60代女性)
- 市外、県外から様々な人が市内に来るような環境をつくり、多様な考え方が存在する社会をつくる必要があります。実際に地域で生活している人の声を聞くべきである。福島駅前など閑散としているところが多いので、どうせなら何もなく好きなように使えるスペースにしてしまえばいい。Youtuberなど誘致して、にぎやかにする。(30代男性)
- 男女平等ではなく、性別それぞれにできること・できないことを行政側がどうフォローできるかが大事だと思う。女性側が結婚、妊娠で仕事を空けるのは仕方ないこと。少子化対策をうたうのなら、休みやすい体制をつくるべき。仕事を理由に結婚も妊娠もできないのはおかしい。(30代女性)
- 看護師として従事しているので看護婦・看護師から性差別がなくなり業務や昇進も平等に感じているので一般社会での差別感があまり感じる事がなかったです。(50代女性)
- 社会全体が変わっていく流れに向かうことを願っています。人が思いやりを持って周りの関わる人とコミュニケーションを取りながら進んで欲しいと思うことが多々ありました。福島市が市民とコミュニケーションを密に取りながら、施策をどんどん進めていくことを期待しています。(40代女性)
- 性別や年齢によっても、考え方や価値観の違いが生まれると思います。考え方は人それぞれだと思うので、自分と違う考えを持つ人に対して、拒否や否定した態度をとらないこ

とを意識しています。色々な方の考え方を理解するためにも、このアンケートの結果を公表していただきたいです。(20代女性)

- 女性の管理職への登用割合を比較することは必要ない。無理に就かされ、家庭生活を犠牲にしてしまったら本末転倒。男女の役割を再度確認すべき時、皆分かっているが声に出せないのが現状。(70代以上男性)
- 上記のテーマを自分に関わる問題として意識せずに生きていました。今回のアンケートで色々考えてみましたが、あまりに意識しすぎるとも良いことだとは思われません。日常生活の中で、隣人に普通に接することが肝要であると思っています。(70代以上男性)
- 差別なくみんな仲良くすること。(70代以上女性)
- 仕事内容や役職、職場の雰囲気等によると思うが、妊娠・出産のための休み(自分が仕事に穴をあけてしまう)の取りづらさがどうしてもある。迷惑をかけてしまう、自分の分を誰かがやらなければいけないと考えると妊娠を先延ばしに考えてしまう。男性の育休も少しずつ普及してきてはいると思うが、同じように周りを考えてしまうと取りづらいのではと感じる。私は公務員なのですが代替わりの人がいつでもいるという状況を作ってほしいです。人員不足です。(20代女性)
- イベント等に参加すること。(70代以上男性)
- 市民ひとりひとりが同じような考え方やみんな平等であると思っている人が少ないこと。(40代女性)
- 性の多様性を認めるべきと思っはいるが、違和感を感じてしまう自分もいる(50代女性)
- すべての面において、差別のない社会を構築することは大変重要であることは言うまでもないが、この理想を現実にするには、容易なことではない。市単位の活動だけでなく国全体でいかに啓蒙活動を計画的に長期に渡り継続するかが問題である。(70代以上男性)
- 幼い頃から祖父母(80代)が居る生活をしてきた中で、当時は気付かなかったけど、大人になり、たくさんの人と出会い、価値観の話をする今まで「そういうものなんだ」で片づけてきたことは昔(昭和)の考え方であり、女の自分でも本当は選択肢はもっとたくさんあったんだと思うと同時に、制限されていたことに対する悔しさが湧きました。例えば、進学の際に漠然とではあるが大学に行こうかなと家族に相談した時は、祖母に「女は大学に行かなくていい」と言われ、専門学校に行き就職しました。大人になり、たくさんの職業があることを知り、特に経営や行政や司法で女性が活躍しているのを見たときに、大学へ行かなかったことをとても後悔しました。家庭内では祖父、父、兄は一切家事をしないことにより、こちらの負担が増えることへの憤りと、お正月などの親戚付き合いでも男性は料理や配膳はせず、座ったままであることに対しずっと疑問でした。これらが全て間違っていると自分なりに判断して「それは違う」と発言できるようになったのは、都会へ出ていろんな方と出会って、いろんな意見を沢山聞き、セクハラや性犯罪など嫌な思いをたくさんして歳を重ねてやっと言えるようになりました。私の

状況は少し特殊かもしれませんが、SNS を見ていると、まだまだ女性が女性であることで性犯罪や子育てなどの啓発を発信すると批判されているのをよく見ます。そういうのを目にする度に本当の男女平等は難しいことなのだろうと痛感します。私は男性が家事育児をしてもいいし、女性が仕事をしてもいい。それによって差別を受けることを許してはならないと思いますが、周りの友達が結婚をすると苗字の変更や義両親からの発言や共働きでも家事育児は女性の負担が大きい話などを聞くことがあり、特に田舎は固定概念や周りの目などを気にすることが強く都会に比べて時代の変化、価値観のアップデートが遅いように感じざるを得ません。自分にできることは微々たることなので差別的な発言を聞いたときは意見をしていますが、こういうのは自分たちの代で終わりにしたいと思う日々です。今の子供たちが大人になったときに、男女で差別されることなく、声を上げたことに対して口を塞ぐようなことはされず、評価され、進学し、働きやすく、結婚や子育てがしやすい、生きやすい社会になってほしいなと思います。(30代女性)

- 誰もが抱えている悩みや痛み、苦しみを理解してくれる人を3人見つけてそれぞれの解決法を徹底的に追求し、相手の意見を否定せず導けるアドバイスを伝えていければ「この人は私の為に怒ってくれているのか、泣いているのか」となってくれるはずです。(40代男性)
- 私は兄と二人兄妹です。亡くなった祖父はとても頑固で昔気質の人で男の人を尊重し比重も多くする人でした。私は女ということで大切にされて育ったという覚えは全くないです。決して女だからという訳ではありませんでしたが、兄に比べると大切にはされていませんでした。不器用な人でしたから、もともとそういう祖父だったのかもしれませんが。昔の時代に比べると今の時代はかなり良くなっています。性の問題はいつの時代も難しいですが、ひとりの人間として、ひとりの男・女として自分らしく生きることのできる世の中・社会であってほしいです。私は福島県に住み、福島市に住む人間として県政や市政がどう進んでいくのか見守っていきたいです。(50代女性)
- 一般的に平均所得と言われている数字は、一部の高所得者により大きく引き上げられています。生活保護や非課税制度はありますが、弱い者には厳しい制度だと感じています。収入が少なければ余裕のある生活はできず、能力発揮どころか暴力・差別等の大きな原因になっていると思っています。(70代以上男性)
- 男女平等の社会(70代以上女性)
- PTA 役員など、姑から絶対やらないでくれと言われたことがあります。昔の人の考え方は女性がリーダーになるのは家庭・職業などに夫も協力的でなく仕事中心でやってきた。今の人(若い人)をみると、やさしくて協力的でうらやましいです。(70代以上女性)
- 難しいと思うけど、男女どちらの親でも利用できる保育ルームを企業で作るのを支援できるといいのではと思います。病気対応も可だと良いと思う。別ルームを用意するなど。(40代女性)
- 性の多様性が重視されているが、自治体や各種業界で人手不足が現状である。マイノリティのために人的工数を割く余裕がない。今はまずマジョリティの充実を図るべき。(30

代男性)

- 難しい問題なので、各個人が性差別に対する知識を高めていく必要があると思います。  
(50代男性)
- 夫婦別姓を認める。女性は離婚しても半年後に生まれた子が元夫の子となる古い制度を変える。(60代女性)
- すべての人々が生きやすい社会でありたいですね。(40代女性)
- 性別にかかわらず互いに会話をし、意識共有できればいいなと思っています。(60代男性)
- この年齢になると結婚と出産していないと白い目で見られていると感じる。この年齢まで必死に働き病気になるながら社会貢献してきたつもり。だが、なぜ悪いこと、欠陥あるものとして扱われるのか日々つらいです。職場でも出産する女性スタッフの為に我慢して残業(プライベート返上)してきている。参画する女性の為、支える人々の負担が増えているのも現状である。考え方、仕事の仕方も変えなければこれ以上の参画は難しいと思う。(30代女性)
- 仕事が忙しすぎて家事等手伝えない。女性管理職は増えていると思う。むしろ女性の方が強いと思う時がある。(50代男性)
- 年齢を重ねると自分の体力、脳力もおとろえる。自身の体力をしっかりとかためた上で、できることを見い出して少しずつ社会に出していきたいと考えています。(70代以上男性)
- 男の子を育てる親の意識。昔からのしきたりを無意識に親(特に母親)が継承しているように見受けられ、そのように育てられた息子は家事、育児などに非協力的と思う。家庭のことは男女共にできるように訓練させるべき。姑は”嫁が料理を作るべき”などの昔の視点で見るのは辞めるべき。親のフラットな視点が大事。女性へのプレッシャーになる。家庭を優先する、社会で活躍の場を奪われる、負のスパイラルをなくすことが最優先。行政は保育士の給料を上げれば保育士減らないと思う。保育士さん割に合っていないと思う。子供預ける場が増える。(30代女性)
- 自分の周囲では個性を尊重する考えが浸透してきていると思う。(30代女性)
- 向き、不向きがあるため、何が何でも男女平等という考え方は難しいが、それぞれが意見を言える環境であることが大事だと感じている。男性に限らず、女性でも立場が上で威圧的な方はいます。そうになると、やはり誰も何も言えなくなります。そういった視点での教育が大人の世界では必要だと思っています。(40代女性)
- 福島市民のひとりひとりが大きな家族のひとりであるように相手を思いやり、尊重して暮らしやすい町の実現。(70代以上男性)
- いろんな団体の会議や連携のミーティングに参加すると、最初のあいさつに男性の偉い方が来てあいさつし、ミーティングには参加していない。ミーティングで様々な良い意見が出て反映されていない気がする。そこの場に決定権のある地位の方が参加されていないので。(40代女性)

- 適性、能力があるならば性別は無関係。ただし、安心して子育て環境を前提として。(70代以上女性)
- 給与は男女の格差がなくなってきたと思うが、出産後に職場復帰した後、昇格できない女性が多く、男女で格差があると思います。また、議員を目指す女性が少ないのも問題かと思います。議員を目指す女性の育成・支援をもっとすべきかと思います。女性議員が少ないということは、まだまだ女性の声を通りにくい社会であることの表れだと思う。(30代男性)
- すべての人が自分らしく生きていける社会になることを願っています。(70代以上女性)
- 社会の活動、家庭、いろいろなところで多種多様になっているので、柔軟な考え方や若い人たちの声をどんどん取り入れていってほしいと思います。(60代女性)
- 「市民一人ひとりが個人としてお互いを尊重し～自己の能力を発揮できる社会」へ向けて、法的なこと、機能的なこと、物理的なことはそれなりに具体的ことは各々あるだろうと思います。しかし、「市民一人ひとりが云々発揮できる社会」へとなるとそれは人々と心の有様が人としてどうすることがいいのか。人として当然と思いつつも「現実的にどうあったらいいのか」真剣に考え出すと苦しくなっていく感じがします。(70代以上女性)
- 性別や年齢、見た目、固定概念等にとらわれず、一人一人が相手の本質を理解し合うことによって差別も減っていくと考えているため、生活しやすい社会を形成していくために対策していくことは重要であると思っている。(20代男性)
- そもそも福島市自体が格差と分断を促すような対応しか出来ていないからこんなアンケートをとっている時点で終わっている。給料が安定して諸手当や退職金、福利厚生が手厚い社会人が考えたところで、苦しんでいる人たちに何が最善かなど分かるわけがないと思う。とりあえず紙のムダ。(40代女性)
- 性の多様性についての理解度は低いと思われる。差別・偏見性が見られる。選択的夫婦別姓制度は時期尚早と思う。国家の原点は家庭からとの観点から家族の意義等についてが少子化対策の一つと思う。(70代以上男性)
- 世の中の動きが変わってきていても、その情報をキャッチできる人、キャッチしようとしている人、それは男女、年齢に関係がなく、本人の生活環境でだいぶ違ってくると思います。例えば特に昭和より上の世代「セクハラ」と単語は知っていても自分のどんな言動が「セクハラ」になるかも分かっていない。自分は何気なく発している言葉でも相手が不快・セクハラと感じたのであれば、それは「セクハラ」が成立するということを理解しているか？世の男性特に！！時代の変化にもっと敏感に。(50代女性)
- 時間に追われている生活が続くと周りが見えにくくなり、自分のことしか考えられず人に当たってしまったり、心を傷つけてしまうと思うので、落ち着く環境と時間が必要だと思います。一人一人が生きやすく思いやりを大事にする社会になってくれればと思います。(40代女性)
- 女性議員を議員数の半分にする。(40代女性)

- 男女が共にお互いを尊重し、どんな場面でもパートナーとして忖度なしの意見を言い合える環境が必要と考える。(無回答)
- 家庭、地域社会、学校、職場など、あらゆるところでの啓蒙活動、教育が一番大事なことです。(70代以上男性)
- ある程度理解できるが、そもそも神様の摂理に反してまで努力することが疑問。ただし、それが病気だとすれば対応は必要である。結婚はそれを両者が望むものであれば好きにすればよいこと。男が女子トイレに入る等、言語道断。行政が支援する等は税金の無駄遣い。他にやることいっぱいあるだろう。(70代以上男性)
- 自分の考えを相手に押し付けず聞くことを意識している。相手の考え方を受け入れることにつながるのとても大切だと思う。聞くことを大切にしていけば社会は必ず発展していくはずだ。(50代男性)
- 今はいろいろな事がめまぐるしく変化していて、以前美德とされていたこと、当然と思っていた事があいまいになって何が正解なのかわかりません。家族も血縁のみではなく幅広い意味での家族を考える？多様性の時代とは何なのかも正しく理解できているとは思えませんが、個人的には人はそれぞれ違って良いと思います。差別は性別のみでなく、年齢、容姿、体型、しいては地域、国家にも存在しますが、いままで考えていなかったことを考えるようになり、少しずつでも良い方向に進んでいるような気もしています。(60代女性)
- 男女間賃金格差が解消され、正社員と非正規雇用の賃金格差も縮小されていくことで、同じ土俵に立ち、やりがいができ、昇進、昇格に男女差がなくなれば自己の能力を発揮できる社会に繋がっていくように思う。(50代女性)
- 男女関係なく思いやりの気持ちを持って付き合いたいものです。(70代以上男性)
- 職場での育休、産休明けの女性の待遇を男性と平等にしてほしい。(40代女性)
- お互いに思いやりの心、態度を持つようにする。(70代以上男性)
- 性の違いより、その人間のパーソナリティによって評価される社会の構築。(70代以上男性)
- 今までの男は男らしく、女は女らしくという考えから脱却する必要があると感じています。(30代男性)
- 方法論ではなく、社会全体がギクシャクしない、おだやかな状態になるよう経済やモラル、倫理観等で向上できるなら、ゆとりと思いやりのある中で改善していくのではないだろうか。(無回答)
- 各質問に対して、昭和生まれ平成生まれの年代によって、育った環境もふくめ回答内容に大きな隔たりが出ると思われる。/質問内容を年齢別(幅を持たせた区切り)に諮問してはいかがか。 /私自身、まもなく80歳を迎える高齢者であり、考え方も年齢とともに変えざるを得なければならぬ事項が多々あります。/世帯構成によっても、考え方が変わってくると思えます。高齢夫婦のみ二人住まいでは関心項目も年齢とともに変わるため。(70代以上男性)

- コミュニケーションをよく取り、何でも話し合える場をもつこと。男女関係なく思いやりを持つ事ができるよう、お互いが努力しあうこと。(60代男性)
- 学校教育に携わる人の意識改革、スキルアップをすることにより、教育がなされ、人材が育っていくと思う。これからの市民を育てるための保育士教員の質の向上を願う。(60代女性)
- すべてにおいて平等の社会になることを願っています。(60代女性)
- お互いを認め合うこと(70代以上女性)
- 多様性の動きで、さまざまな考えの人を肯定的にとらえることはとても良いことですが、それによるマイナス面もあるかと思います。トランスジェンダーのふりをして女性トイレに入る等、すべて推し進めるのではなく、慎重にするべきところはする。たくさん考えることが必要です。(30代女性)
- 周囲の雰囲気作りは必要と感じる。それが当然・普通の考え方として差別的な考えがうまれにくい環境ができると良いと思う。(50代男性)
- 生物学の観点から男女のあり方をなくす必要はないと思います。心の面での考え方は多様性があるのが当然だと思います。(50代女性)
- NHKの朝ドラ「虎に翼」を見ていますが、男女平等、性の問題、介護…私たち(見ている側)に分かりやすいドラマです。考えさせられます。生きていくって大変なこと。さまざまな問題がありますが、困ったことがあったら助けてくれる社会を望んでいます。(60代女性)
- 男女共に自分の考えを話せるような場を作成していただき、ある程度の回数を重ねていける場所をお願いしたい。(70代以上男性)
- 日頃、生活をしている中で、特段相手に対して性別を意識して接することはないです。ジェンダーに関係するならアジアのタイ王国の取組を参考に役所が対策をとるのも一つかと思います。公に中性のトイレを市役所に設けるなど。(50代女性)
- この世に一人として同じ人はいない事を理解する事が出来れば良いのと思う。(60代女性)
- 職場よりも性別による差別は、親族関係においてのほうが強かったように思う。特に60代以上の親族からの差別的な言葉は多く、自分は相手にはそういうことをしないようにしようと思いながら育ってきたと思う。残念ながら、高齢男性が女性に対して「白髪が増えた」「女は年をとるとダメだ」「お前も男なら良かった」等の言葉は今でも耳にする。長寿社会でもあるのだから、そのような世代の方々への教育も行っていただきたいと日ごろから感じている。(50代女性)
- 市民一人一人が思いやりを持ち、互いに尊重して差別のない社会を築いていく。自己の能力を発揮できる社会を作っていくことが必要だと思う。(70代以上男性)
- まずは公務員の方々から改革してください。支所などに行っても女性しか対応してもらったことはありません。窓口が忙しくて奥に座って動かないのは男性です。いつもこの方の生活に税金を払っているのかとがっかりします。行政が変われば企業も変わる

と思います。(50代女性)

- 行政書類の男女別の欄は不要、男女と分ける意味は？男性と女性を比べた時、平均年収を見ても男性の方が圧倒的に高い。今の日本において、国の象徴とされる天皇が男に限られている時点で、男性優位そのものの象徴、憲法が変わらない限り、いくら下で男女平等などといっている意味がない。(30代女性)
- 男女に関係なく、自分のできることを行動にうつすことが大事だと思います。住みよい福島市になることを切に願います。(70代以上男性)
- 性的少数者について周りにそういう友人がおり、子供(現在中一)にも小さい頃から接していたので、本人も違和感なく付き合っている。そういった方が安心してカミングアウトできる社会(特に職場や住宅など)づくりができ、普段から身近に接せるような社会であればだんだんと良くなると思う。一方、どうしても受け入れられない人もおり、それはその人の考えであり、それも尊重できる場がないといけないと思う。(40代女性)
- 同性婚ばかりになると生物としての役目は終わってしまい子孫が残らず人が減っていくばかりだと思います。(50代女性)
- 様々な“ハラスメント行為”をもう一度勉強することが大切だと思います。(60代女性)
- LGBTQの集まれる場所を作ってほしい。男女公平にして！(30代男性)
- 次世代に期待しています(60代男性)
- 男だから仕事が忙しく休めないという考え方も少なくなっているとは思いますが、まだまだ母親の負担が大きいと思う。子育て介護日常生活全体的に見てもどうしても女性、母親が頑張っている。若い人たちは少しずつ変わりつつあるかと思われるが男性の意識改革を求めます。特に年配男性、管理職。子どもは両親で育てられるのがベスト。子育て中の理解を高め具合が悪くなった時は両親がどうすると困らず子どもが不安になるような環境をなくしてほしいと考えます。病児保育は助かるかもしれないけど知らない所に預けられる子どもの気持ちを一番に考えるべきだと思います。子育てでなんでも「お金がかからないようにする」よりも、親育てにも力をいれてほしい。お金がかからなければ子どもが増えるのではという考え方は間違えていると思います。環境を整えることが重要ではないでしょうか。強く要望します。(60代女性)
- 個人の経済基盤をもつことが大事だと思慮します。経済的な余裕(ゆとり)がなければ他人を思いやる気持ちは出てこないでしょう。「負すれば鈍する」(70代以上女性)
- 男女問わず、個人として尊重される社会に少しずつなってきていると思う。(60代男性)
- なんでもかんでも、差別だ！不平等だ！と騒ぎ立てる市民団体や活動家を国家権力で駆逐してほしい。(40代男性)
- 「女性のために」と開催されるイベントや研修会、「男性のために」とされるものがみられないのはやはり男女の差別ではないか。「女性のために」とされる内容であっても参加者を男女で募っても良いのではないか。特別視、それが差別ではないのだろうか。(50代女性)
- 差別と区別の違いを市民一人一人がもっと理解すべきだと思う。どうしたって男女の身

体的性差は埋まらない(生理、出産など)ので、ある程度の区別はあって然るべき。それを差別だ、不平等だというのは違うと思う。(40代女性)

- 育休が安心してとれる職場環境が必要です。男性でも女性でも育休をとればその分誰かが無理してカバーしている現状です。子育て中の人だけでなく誰もが仕事も生活も充実して過ごせるような「余裕」が必要なのではないかと思います。心の余裕、時間の余裕がある生活ができれば、自分や周りの人を大切にできるのではと思います。(50代女性)
- 様々なイベントを行い、スタッフ等も男女平等で行う。計画から実行まで男女平等で行うことが何よりのPR。一番大事なのは街作り、若者がいないのは男女うんぬんより問題だと思います。活性化する町を！(50代男性)
- 男性だから女性だからといった決めつけはしないことは大事だと思う。子供たちにこうでなくてはならない環境はなくすようにしてあげたいと思います。(60代女性)
- 転職してからは良い環境で快適に働いています。県と市の官公庁はアンケート内にあるような取り組みが整備されていると感じます。問題は民間の企業の一部。前職でのえこひいき、差別、未払い、パワハラ、モラハラ、セクハラで新入社員がやめていく。お気に入り以外には退職をせまる。労基が入るときだけごまかす。こういう企業が早くなることを祈ります。とくに名の知れている大きな会社でまかり通っています。市長さんには感謝と期待をもっております。(50代女性)
- 日頃質問の内容を考えることがない。アンケートを通じて感じたことは世の中には様々な考えの人がいて、その人によっていろいろな悩みがある。悩みを相談する相手がまずは自分の悩みを理解してくれる必要があると思うので、例えばLGBTQで悩みがある人が相談する団体の相談役は同じくLGBTQの人であるなど、同じ境遇の人だと相談しやすいのかと思った。(20代男性)
- 女性の社会進出は十分に進んでいると思う。男・女それぞれに合った場があると思うから、「どの分野でどの職業で」と指で示して何をしたら良いとは言いきれないと思う。LGBTQに関しては社会の問題ではなく本人の適応能力自体に問題があると思う。(20代男性)
- 私の年齢になると、近隣の町内会や個人的付き合いに於いてもこまごました家庭の中の問題を良く理解していない男性もいる。靴下がどこにあるのか、ハンカチがどこにあるのか途方に暮れる男性も多い。今迄妻やその両親に全て面倒をかけてきたむくいである。私はどこに何があるのか、どこに預金がいくらあるか、全て把握している。一人暮らしは寂しいが、そんなこと言っている場合ではない。女性の社会進出は大いに歓迎するところである。(70代以上男性)
- 正しい情報を収集し、どのような人がどのような支援を必要としているか把握して施策すべき(70代以上男性)
- 中高生の制服について。男女で決まっているのは時代に合っていない。男性女性がすべてにおいて同じではないことを理解してそれぞれの役割を担ってほしい。性差よりは個人の能力に目を向けるべきである。(60代女性)

- それぞれが自由と感じられる社会が共同参画社会ではないか。(70代以上男性)
- 能力で出世していくのは素晴らしいと思う。公務員等で女性の役職が少ないと印象が悪いからと急に女性役職の人数を増やすのはどうかと思う。身近で聞いたから考えます。女性女性とこだわらず、本当に男女どちらも能力をはっきできればよいのでは…。(30代女性)
- 部下を評価する上司の人間性が問われると思います。部下の言動をしっかり見る目を養って平等に判断できるように努めてくだされば自己の能力はさらに発揮できると思います。現実はできていないのでずるい人が生きていきやすい世の中になっていると思います。まずは上に立つ人をしっかり教育・指導すべきだと思います。(60代女性)
- 正直、市民意識より会社意識の方がより強く感じると思います。市として、市に本社のある企業から性差別をなくしたり個人への能力発揮を促したり働きかけをしていただきたいです。くるみん認定企業についても見直しや基準UPしてもいいかと…。(30代女性)
- 男女共同・平等など「教育の場」と言っているが子供だけではなく大人も理解することが大事だと思う。ひとり親家庭への支援とは具体的にどのようなことですか。私もひとり親家庭で育ちましたが結局はお金が必要でした。(20代女性)
- 多様な価値観を尊重するのは非常に大切であるが、価値観の押し付けにならないよう注意しなければならない。それが互いに尊重することである。(30代女性)
- 男だからとか女だからということではなく、人間として一人一人が大切にされるようにと思っています。(70代以上男性)
- 県全体が旧態依然とした感じ。進捗や発展がない。自覚がないのでは、不足してるだけかな。でも希望をもってガンバロー。(70代以上男性)
- 共同参画の名のもと、女性のみがクローズアップされており、男性の立場が弱くなりすぎたのでは、どうなってしまうのか心配である。平等に取り扱うべきである。(60代男性)
- まず、年配の方の考え方を変えて行けたらいいと思う。若い人は柔軟な考えを持っていると思う。(40代女性)
- 男尊女卑の考え方を おおきくかえることが必要。学校教育だけでは変えることが出来ない 家庭での躾及生活環境が影響はする。(60代男性)
- まずはひとりひとりが、些細なことでも相談しやすい場所を作ってほしい。そこから市役所の各課でサポートしたり提案したりとしていけば、自ずとみんなが住みやすい街になっていくのではないかと思います (50代女性)
- 性別的扱いの前に改善すべきところが沢山あるので感じる事はありません。(40代男性)
- 全て、他者の意思・自由は認められるべきと思うが、もし、自分の家族にLGBTQがいれば、戸惑いはある。(40代男性)
- 会社、管理職者、上司が性別、個人の能力を理解すること (40代男性)
- 平等や差別、多様性についての考え方について家庭内でのコミュニケーションや教育現

場での扱いの必要性。高年齢層の皆さんに対しアンコンシャス・バイアスに関する啓蒙活動の必要性。(70代以上男性)

- 男女の性の違いについての学習を充実する、男女の能力差について理解させる(30代男性)
- 人に迷惑をかけなければ、個人の考えが尊重される世の中であってほしい。(50代女性)
- 個人を認め合える人間関係が大事だと思う。(30代女性)
- まず男性が率先して家事育児をする姿勢を持つべき。女性が働きたいという意思を持った時に、ブロックしない。職場においても女性だけが制服を着ているなど性別によって変化をつけない。(40代女性)
- 最近は〇〇ハラスメントなど言葉を使ったもん勝ちになっている風潮を感じる。トイレや温泉施設などは男女の差別ではなく区別であるから余計なことをする必要はない。(10代男性)
- 理想だけを並べて御託を語るのは勝手ですが、現実と乖離していると思います。まずは行政がやっている事の周知徹底と誰でも判る様に仕組みの簡素化を図って下さい。(50代男性)
- 昔からの考え方を変えないと変わらないと思うが、管理職や上の立場の人間が性別や差別に対して関心がない。自分たちには関係ないと思ってる。(40代女性)
- 誰にでもわかりやすく理解できる仕組づくりが必要だと感じます。(50代男性)
- 本音と建前があるように、望ましい方向は理解できるが実現は難しいと感じている。一般には関心を持たれにくい問題と思う。(60代女性)
- 自分に合ったスキルアップが出来る教室、空いた時間を有効に使える機会があればパソコンや資格取得したいです。(40代女性)
- すべてにおいて平等は難しいので、国の支援が必要と思われれます。(40代男性)
- 男性優位の社会を当然のように思っている男性、またその現実にして違和感を抱かず内面化してしまっている女性が多いのではないかと感じている。それは女子の四年制大学進学率が低いことに象徴されるのではないかと感じている。このような状況が続けば、心ある若者は福島市に希望を持たず、他県や他地域に移住するのではないかと懸念する。(50代男性)
- 「家」でも「男女」でも「夫婦」でもなく「大人」でもなく「子供」でもなく 個人が尊重されるように 社会の単位が「個人」として大切にされるのが理想。意識を変えるのは 教育 啓蒙 。機会が平等に与えられるよう望む。(60代女性)
- 性差があるのは当たり前のこと。だけど、その性を武器に優劣をつけるのはどうかと思う。お互いが男女の差は理解しつつも、個人を尊重できるような教育が必要なのではないかと思う。もう少し、周りを思いやれる人がいればいいのに…と思う。(40代女性)
- 他人を尊重するには、心に余裕が必要だと思います。心に余裕を持つには社会的に自立し、生きていく上での懸念が自分で対処できる範囲内であることが必要ですがそれには個人の能力差があり、助け合うことが大事だと思います。(40代男性)

- 身近にそのような差別がないのでよくわからない。が、能力があるなら何でもやっていけるのでは？男女どうこの質問自体が古くさく、さらに差別をうむのでは？(30代男性)
- LGBT や多様性の言葉が一人歩きしているように思う。そもそも個人を尊重する風潮があれば良いだろうに、トレンドのように今さら LGBT とか多様性とか、持ち上げていることが気持ち悪い。(40代女性)
- 個人としてお互いを、男女の区別なく尊重することが大事であり、男女を分けて平等を目指すところにゴールはないと思います。男女平等、LGBTQ と出生率等様々な問題がありますが、生物学上の性別を超えた議論は根拠が薄くお気持ちの問題になるので、議論が深まらないし間違うのだと思う。(30代男性)
- 子供(支えられた)から社会(支える)に出たとき恩返しの意識の教育が必要です。(70代以上男性)
- 性別関係なく、本人の希望による TP0 に合わせた服装や身なりを心がけ、制服などに縛られない生活が出来るといいなと思います。(30代女性)
- 公の場に積極的に参加します。(60代男性)
- 学歴問わず、自己の能力をもっと適切に判断できる人、人間性が高い人など、、、そんな人を育てられる街づくり。誰でも参加できるイベント、体育祭など交流を深められる企画などを多くイベントを増やして欲しい。(50代女性)
- 夫婦間は協力が大事だと思います。パートに出ながら家の事もやり、学校行事で平日休みを取るのも妻、子供が病気になれば仕事を休むのも妻です。休日も休まりません。スキルアップの為に何か始めようと思っても忙しくて時間がありません。(40代女性)
- 特に年配で権力をお持ちの方々の柔軟な対応が必須。頭が堅い方々の早急な隠居。(40代男性)
- 書類などで性別の欄は自由記入にしてもいいのではないかと思う。どちらにも当てはまらない人などもいるため。(10代女性)
- お互い尊重し思いやること(60代男性)
- どんな人でも活躍出来る場があったら良いと思っている(10代男性)
- 性別について、これといって特に感じることはない。福島市の保育施設を充実して欲しい。働きたくても保育園に入れることが難しい。特に第一子。初めての子育てに奮闘するママさんの社会復帰を真剣にサポートしてほしい。(30代女性)
- 職場等で”子持ち様”の影響を受ける人への金銭等の補償。過剰に性的マイノリティへ反応することに対して、マジョリティが影響を受けることは避けた方が良いと思う(20代男性)
- 性別に限らず、差別は悪感情を生むものであり良いものではないと思っているが、最近社会全体が過敏になりすぎており、生きづらいつ感じている。(40代男性)
- 余りに差別差別と騒ぎ立てるのを止めてほしい。(70代以上女性)
- これまでの価値観にとらわれず、個の違いを認め寛容であること。また、寛容である

よう、一人ひとりの生活に余裕がある社会であること、が必要だと感じます。(40 代男性)

- 年代によって受けた教育が違うため他の世代との性別や家庭の考え方のベースにギャップがあるなど地域活動などを通じて感じたことがあります。まずはギャップを埋めるための相互の理解、それぞれの世代が異なる価値観を受け入れることができるような啓発が必要だと思います。「昔はこんな教育だった」→「今はこんな風になっている」。母子手帳を交付してもらった時に頂いた「孫育て」というような冊子の内容のように昔と今の変化をわかりやすく表してくれるようなものがあるといいのではないかと思います。自分を受け入れてくれる場所であるということ、様々な価値観を受け入れるということが人口流出防止にも繋がるのではないのでしょうか。(30 代女性)
- 大切なのは教育と意識の改革だと思います (60 代男性)
- 昔よりは良くなってきたように感じます。(30 代男性)
- 校則や就業規則を男女共通にすべき (30 代男性)